

亀裂の発達状況や崩壊しやすいブロックを的確に評価・推定するための技術です！

エアートレーサー試験による岩盤内亀裂調査法

特許
取得済

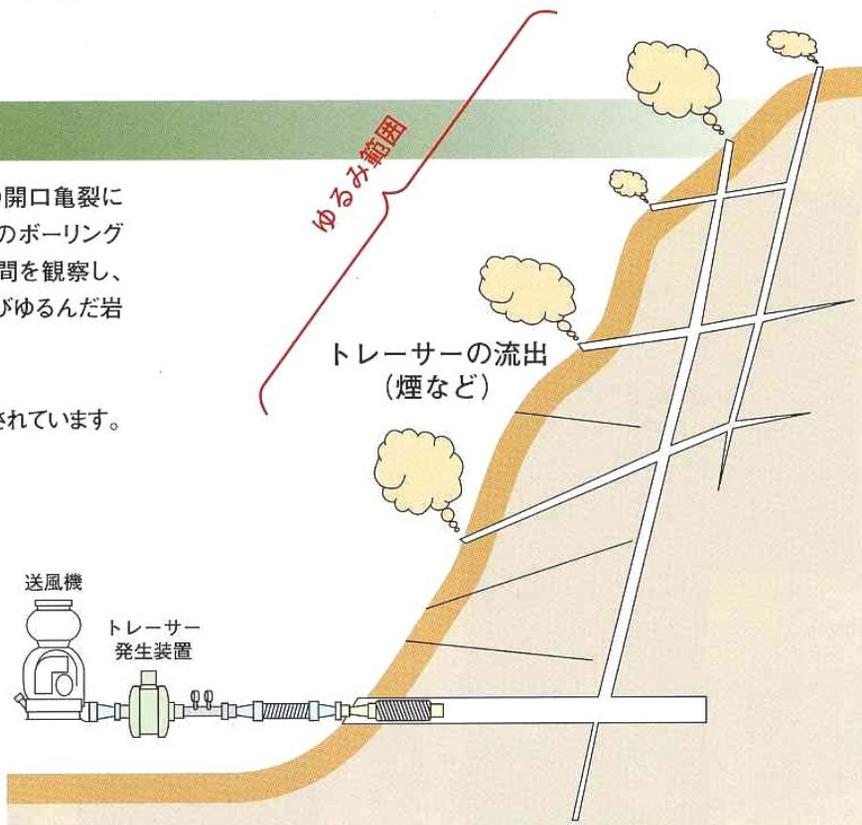
エアートレーサー試験による岩盤内亀裂調査法は、目視観察やボーリング調査が主体の従来技術を向上させ、岩盤斜面内部の亀裂の発達状況や崩壊しやすい不安定なブロックを的確に評価・推定するための技術です。

測定原理

地表面やボーリング孔内の特定の開口亀裂にトレーサーを挿入し、地表内や他のボーリング孔内において流出分布と移動時間を観察し、開口亀裂の連続性と開口量、及びゆるんだ岩盤ブロックの形状を把握します。

●本技術には以下の特許権が設定されています。

特許第 3433225 号



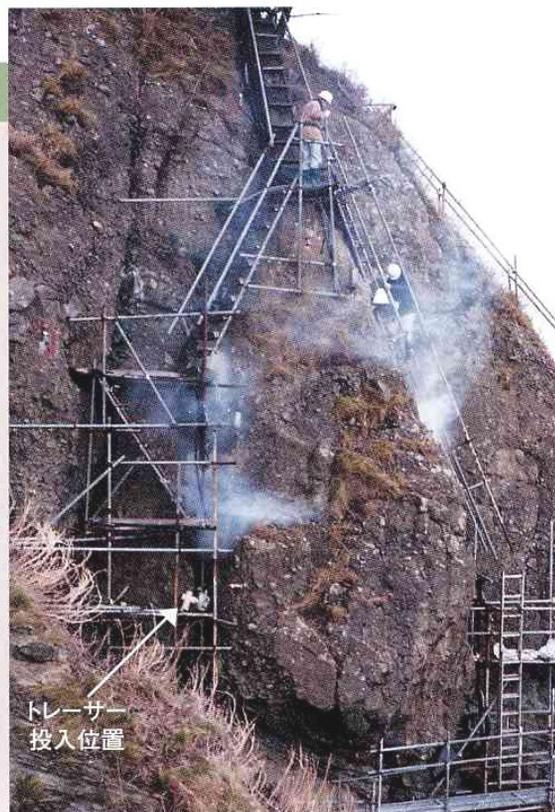
エアートレーサー試験の方法

測定例

実験地は、凝灰角礫岩の軟岩よりなる海食崖の一部が緩みブロック（大きさ：幅5m、奥行き3m、高さ8m）を形成しており、10cm程度の開口度の亀裂が存在します。

実験では、連続する開口亀裂を取り囲むようにトレーサーが流出し、緩みの形状を確認できました。

写真は、山形県の現場ですが、栃木県、愛知県、兵庫県、新潟県、奈良県で多数の現地実験を行っています。



問合せ先

地質・地盤研究グループ 地質チーム Tel.029-879-6769